

遠賀

No.144 2016.11.10

発行／福岡県^{おんがらよう}遠賀町議会

議会だより



9月定例会

平成27年度決算

決算規模が大幅に拡大

・・・ 2

決算特別委員会審査報告

・・・ 4

補正予算など

・・・ 6

意見交換会

・・・ 7

一般質問

・・・ 8

傍聴者から一言・全国交流レガッタ

・・・ 12

決戦！川中島

9月25日

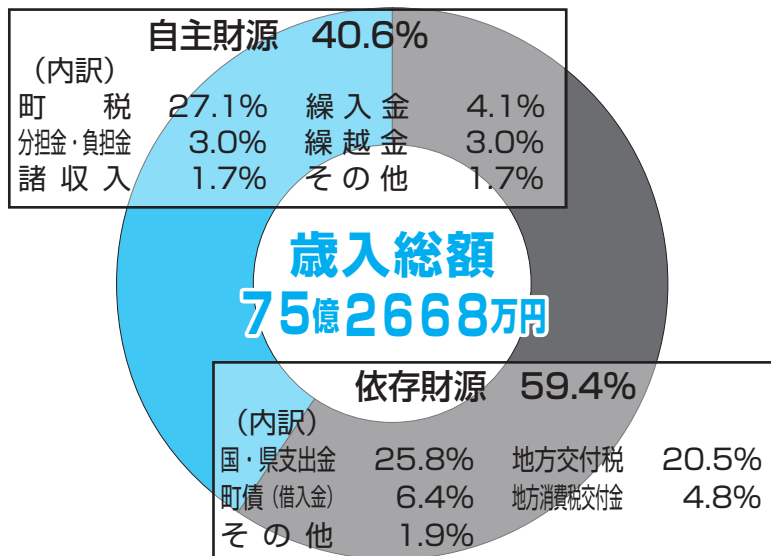
晴天の下、浅木小学校で秋季大運動会が開催されました。決戦！川中島では大将同士の一騎打ちとなり、白熱した勝負に熱い視線と歓声が上がりました。

9月定例会は、9月2日から23日まで22日間開催されました。

議案は、平成27年度一般会計と9特別会計の決算、条例の改正、財産の処分、平成28年度一般会計と特別会計の補正予算など、27件が上程され、慎重審議を行いました。

運営を

一般会計 歳入 (万円未満四捨五入)



町税の税目別収入状況 (万円未満四捨五入)

平成27年度 20億3988万円



監査委員指摘事項

本年度の決算状況をみると、実質単年度収支は9669万円の黒字であり、実質収支比率は4.7%となっている。経常収支比率は89.7%と前年度比3.0ポイント低下、実質公債比率は6.8%と前年度比0.7ポイント低下しており改善されている。決算額は歳入が前年度比8.1%増、歳出8.7%増となっており、決算規模は拡大している。

厳しい財政状況が続く中、今後も少子高齢化の進展に伴う社会保障に係る経費や、公共施設の維持管理費、遠賀川駅南の整備事業など財政需要の増加が見込まれる。したがって、歳入については、国や県などの依存財源と町税などの自主財源確保に加えて、収納対策による収入未済額の縮減に努める一方、歳出については限られた財源の中で、効率的・効果的な事務遂行を行いより健全な財政運営が図られるよう努められたい。

平成27年度 各会計歳入歳出決算一覧 (万円未満四捨五入)

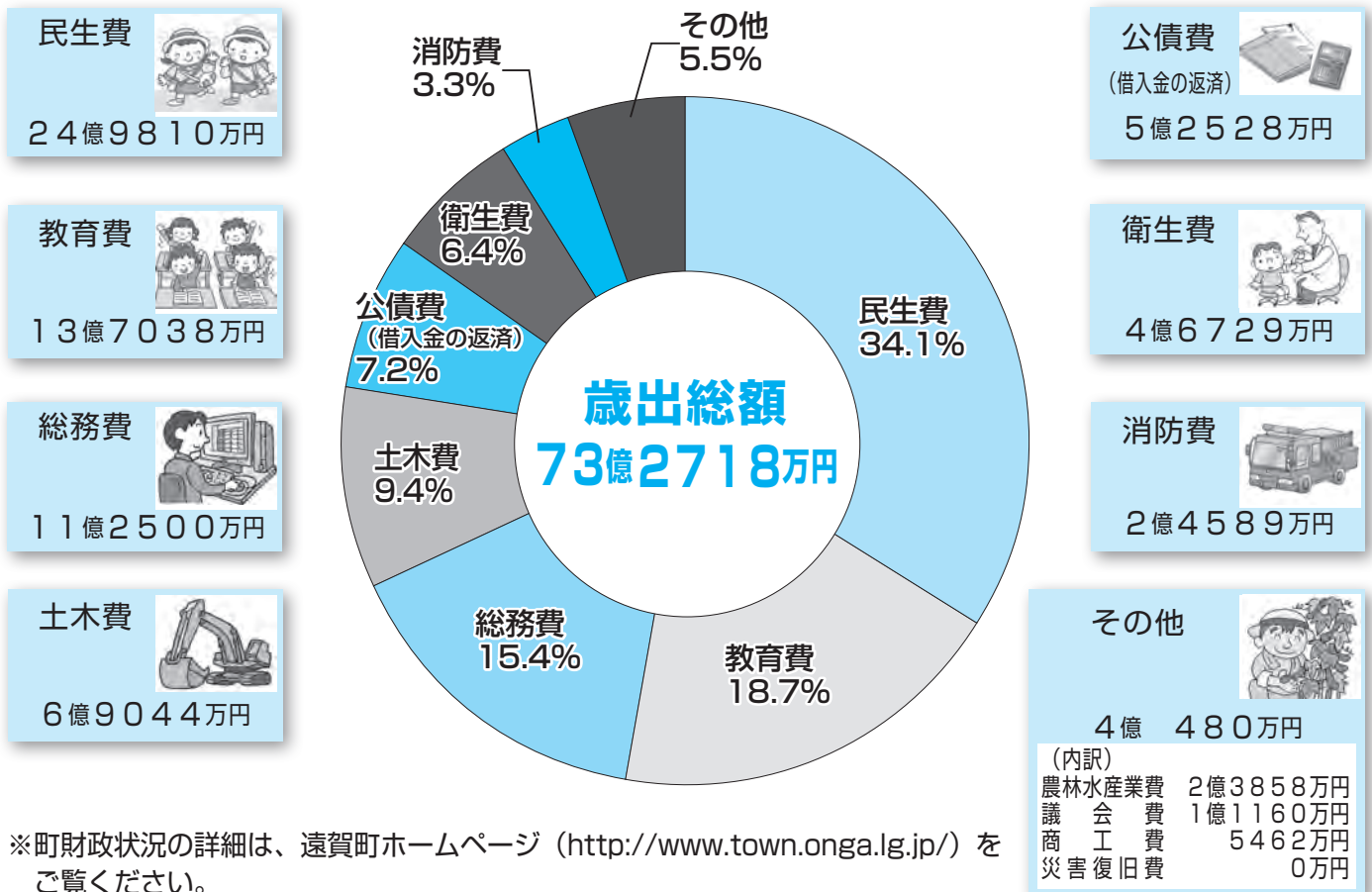
会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	75億2668万円	73億2718万円	1億9950万円
特別会計			
国民健康保険事業	27億7346万円	27億2252万円	5094万円
住宅新築資金等貸付事業	781万円	725万円	56万円
遠賀霊園事業	1億82万円	9820万円	262万円
学校給食事業	4億6975万円	4億6973万円	2万円
地域下水道事業	6955万円	6467万円	488万円
農業集落排水事業	9274万円	9007万円	267万円
公共下水道事業	5億6496万円	5億5347万円	1149万円
土地取得	5037万円	5037万円	0万円
後期高齢者医療	3億425万円	2億9844万円	581万円

限られた財源

健全な財政

一般会計 歳出

(万円未満四捨五入)



平成27年度 決算認定

(一般会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計 賛成多数認定)
(その他すべて 全員一致認定)

教育費・民生費の増額で、決算規模が大幅に拡大

平成27年度一般会計の決算内容は、歳出総額73億2718万円となり、前年度に比べると6億7118万円と、10.1%の大幅な増額になっています。

増加した主なものは教育費と民生費で、教育費は食育交流・防災センター建築工事に係る操出金およびコミュニティセンター改修工事に係る工事請負費の増。民生費は国民健康保険事業特別会計への操出金の増によるものです。

また、町の主な財源は、町税などの自主財源と、

国・県からの支出金や地方交付税などの依存財源に分けられますが、自主財源比率は40.6%と前年度比1.2ポイントの減です。

特別会計では、国民健康保険事業の歳出が27億2252万円と前年度比で2億6903万円の増額です。

増加した主なものは、事業対象の医療費が拡大されたことに伴う共同事業拠出金。減額した主なものは、被保険者数および一人当たりの医療費の減少に伴う保険給付費です。

平成27年度 決算特別委員会 審査報告

9月6日～13日

平成27年度一般会計と9特別会計の歳入歳出決算について、各担当課から主要施策の事業実績を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事務事業に反映されたかを審査しました。

委員長報告

歳入のポイントとして、「収入確保の努力が十分になされているか」に着目し、具体的には、「町税の徴収が効果的になされているか」「補助金を予算どおりに確保できているか」「その他の収入確保の努力が十分であったか」を審査しました。

歳出のポイントとして、「議決された予算が適正かつ効果的に執行されたか、またどのように事業効果が上がったか」に着目し、具体的には「支出が適法適正になされているか」「不用額は妥当であ



右から
委員長 中野 嘉徳
副委員長 尾下 康文
委員 仲野新三郎
加藤陽一郎
田代 順二
萩本 悦子

「私たちが審査しました」

るか」「予算の流用や予備金の効果が上がっているか」を審査しました。
その結果、下記のような指摘をして、全議案を認定しました。

来年までに検討を！ 10項目の指摘 決算特別委員会から 町執行部へ

次の指摘事項は、町執行部で検討され、平成29年3月定例会で報告されます。

指摘1

災害対策の備蓄品については、熊本地震等の実情を踏まえるとともに、長期保存可能な備蓄食料の検討等、内容の充実を図るべきだ。

指摘2

選挙啓発については、18歳選挙権への引き下げに伴い、若い世代の選挙啓発団体育成の検討に取り組むべきだ。

指摘3

固定資産税の償却資産

については、申告漏れの見落としがないよう、公平の原則から調査を実施すべきだ。

指摘4

本町の、ごみの一人当たり排出量については、中間市・遠賀郡内で過去より本町が最も多い状況にあり、その原因究明に取り組むべきだ。



山積みされた生ごみ

指摘5

買い物困難者対策移動販売業務については、町においても、赤字解消に向けたPRや対策を講ずるべきだ。

指摘6

駅前サービスセンターについては、現行の19時閉館を20時閉館にするなど、駅利用者等の利便性やインキュベーション事業との事業効果を考慮した対応を実施すべきだ。

指摘7

遠賀川駅前の駐輪場の2階については、利用者がほとんどなく放置自転車を置く倉庫となっているが、有効利用の検討をすべきだ。



放置自転車の倉庫となっている駐輪場

指摘8

コミュニティバスのバ

ス停については、利用者への配慮として、屋根等の設置について対応を講ずるべきだ。

指摘9

国民健康保険事業特別会計において、特定検診の受診者数については、受診率が伸び悩んでおり、今後は、通院している人に対する特定検診受診および結果持参の勧奨をこれまで以上に重点的に取り組むべきだ。

指摘10

公共下水道事業特別会計において、公共下水道事業受益者負担金については、延滞金を徴収していないが、公平の原則から「遠賀町公共下水道事業受益者負担に関する条例」を順守し、負担金を納入しないものに対しては延滞金を徴収するよう講ずるべきだ。

こんな質疑もありました

Q 西鉄バスへの負担金が毎年増えているが、経営努力をしているのか。検討したい。

A nimoca（ニモカ）カードでの筑豊電鉄との乗り継ぎ割引の実施や、ポイント制導入の検討など、企業経営努力は行っていると思う。

Q マイナンバーカードの1年間の発行目標数はいくらか。

また、最終的な目標値は、どのように考えているか。

Q 町のオリジナルポロシャツの色について、町民の選択肢を増やすために、何色かを作成する考えはないか。

A 多色にすると価格の問題もある。多色に

A 1年間での発行数は、1600枚程度発行できれば順当だと考えている。

最終的には、国の目標値の80%に到達できるように努力をする。

Q 総合運動公園のゲートボール場とパットゴルフ場の利用者が少ない。他の施設に改修する予定はないか。

A 駅南開発に伴う土地利用が未定のため、パットゴルフ場や緑の広場の改修は、現在のところ考えていない。



利用者が少ないパットゴルフ場

を修繕する方法でいかに得ないと考えている。

Q 遠賀霊園の空き区画はあるのか。

また、空き区画の募集は、町内者と町外者には、どのように対応しているのか。

A 墓地は全部で、5500基ほどあり、現在、89基の空き区画がある。

空き区画に対しては、最初の1年目は町内者を優先して募集を行い、2年目以降は、町外者にも随時、申し込み受け付けを行っている。

A 露出管には、保温管を巻く措置をしているが、今回は、近年まれに見る寒波で、保温管では対応できなかった。

また、水道管の老朽化であれば、全面的に掘り返す必要があり、かなり大規模な工事になる。そのため、故障が出た箇所



遠賀霊園の空き区画

条例改正

附属機関の設置

（全員一致可決）

芦屋飛行場周辺まちづくり構想の策定等に関し調査、検討を行い、町長に意見を述べるため、「芦屋飛行場周辺まちづくり構想検討委員会」を設置するもの。

任期は3年以内とし、

組織は、学識または専門的知識を有する者、住民の代表者、その他町長が必要と認める者の10人以上で構成される。

契約

（万円未満四捨五入）

老良・上別府線（2工区）

地盤改良工事請負契約の締結

（全員一致可決）

老良・上別府線（2工区）地盤改良工事の請負契約を締結するもの。

▽入札の方法

条件付一般競争入札

▽契約金額

5508万円

▽契約の相手方

北辰建設株式会社

遠賀支店

▽工期

平成29年3月31日まで

町道認定

町道路線の認定

（全員一致認定）

高家住環境整備事業区画に、濱村産業株式会社が入場を建設するため、高家2号線（上別府公民館から宮ノ下公園間）を整備し町道として認定するもの。



1工区との接続が待たれる2工区

財産の処分

(万円未満四捨五入)

財産処分

(全員一致可決)

高家地域の用地を町内経済の振興を図るため、企業用地として処分するもの。

財産の処分

土地

●所在

大字上別府1470番

地

●面積

1万339㎡

●売買金額

8132万円

●契約の相手方

濱村産業株式会社

(北九州市)



この土地に新たな企業が進出

平成28年度

一般会計補正予算

1億2937万円減額

(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第2回目の補正予算は、1億2937万円を減額し、予算規模は75億1542万円になりました。

【主なもの】

保育対策総合支援事業費補助金

移住定住AIDMAPラ

339万円

ン事業計画策定業務委託料

500万円

地方戦略実施計画の一環として、各自自治体において、地方創生推進交付金事業を活用し、人口増・戦略促進を図るために、平成27年度に策定した「定住促進計画」に基づいてプランを作成するもの。

(注) 移住定住AIDMAPラ

今回、取り組むAIDMAPラ

法を応用して、移住・定住を促進するための実施計画とするもの。

委託料

1000万円

町道老良・上別府線改良事業に関する測量・設計委託料。

予防接種料

148万円

平成28年度から新規に

実施する乳児のB型肝炎の予防接種料。

地域介護・福祉空間整備推進補助金

65万円

浅木病院の介護者負担軽減および要介護者の自立支援のため、介護用ロボット導入に対して補助するもの。

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金

451万円

有料老人ホーム『かがやき』内のスプリンクラ―設置に対して補助するもの。

予算は地方創生推進交付金を活用する。

土地取得特別会計

(全員一致可決)

8132万円

町有地売却による不動産売却収入。

内容としては、企業誘致のため、高家2号線の一部拡幅舗装工事等の実施設計業務委託料。残りは土地開発基金元金として積み立てるもの。

国民健康保険事業特別会計

(全員一致可決)

1259万円

退職被保険者数は減少しているものの、高額療養費対象者が増加したた

め、負担金を増額するもの。

後期高齢者医療特別会計

実施設計委託料及び工事請負費

1554万円

ふれあい農園のプレハブ倉庫建て替え工事を行うもの。

予算は地方創生推進交付金を活用する。

土地取得特別会計

(全員一致可決)

8132万円

町有地売却による不動産売却収入。

内容としては、企業誘致のため、高家2号線の一部拡幅舗装工事等の実施設計業務委託料。残りは土地開発基金元金として積み立てるもの。

国民健康保険事業特別会計

(全員一致可決)

1259万円

退職被保険者数は減少しているものの、高額療養費対象者が増加したた



老朽化したふれあい農園の倉庫

め、負担金を増額するもの。

後期高齢者医療特別会計

(全員一致可決)

260万円

広域連合への保険料等負担金の増加によるもの。

学校給食事業特別会計

(全員一致可決)

626万円減額

食育交流・防災センター

1周回道路舗装工事請負費の入札執行残および配送用トラック等の備品購入費の入札執行残によるもの。

土地取得特別会計

(全員一致可決)

8132万円

町有地売却による不動産売却収入。

内容としては、企業誘致のため、高家2号線の一部拡幅舗装工事等の実施設計業務委託料。残りは土地開発基金元金として積み立てるもの。

国民健康保険事業特別会計

(全員一致可決)

1259万円

退職被保険者数は減少しているものの、高額療養費対象者が増加したた

め、負担金を増額するもの。

後期高齢者医療特別会計

(全員一致可決)

260万円

広域連合への保険料等負担金の増加によるもの。

学校給食事業特別会計

(全員一致可決)

626万円減額

食育交流・防災センター

人事案件

教育委員会委員

(全員一致同意)

任期満了に伴い、新たに選任するもの。

山中 功吉 さん

(別府)

平田 多賀子 さん

(東和苑)

●任期

平成28年11月11日

平成32年11月10日

(山中さんは平成31年11月10日まで)

職員懲戒審査委員会委員

(全員一致同意)

任期満了に伴い、再度選任するもの。

中西 俊博 さん

(小倉北区)

中村 優美子 さん

(広渡)

行事 和美 さん

(松の本)

●任期

平成28年10月23日

平成30年10月22日

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	議員名												
9月 定例会	平成27年度遠賀町一般会計歳入歳出決算の認定について	浜岡	仲摩	尾下	二村	萩尾	田代	濱田	中野	加藤	仲野	織田	萩本	古野
	平成27年度遠賀町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度遠賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○

(議長)

※ 全員一致の議案は除いています。

遠賀高校生との意見交換会を開催しました

意見交換会を開催しました

8月10日、本会議場にて、遠賀高校の生徒会を中心とした13人の皆さんとの意見交換会を行いました。

意見交換会は、『議会は、町民等と町政全般にわたる意見交換を行い、その意見を町政に反映させる



緊張して席に座る生徒の皆さん

機会を設ける』との遠賀町議会基本条例に従い、平成27年11月の区長会との意見交換会に続き、2回目の開催となります。

生徒の皆さんは議員席に、各議員は執行部席に座りましたが、初めて入った議場の雰囲気生徒の皆さんも緊張しているようでした。

最初に全員の自己紹介を行い、その後、議会運営委員会委員長から、議会の構成や組織、議案の審議の進め方などの概要説明がありました。

生徒の皆さんも普段触れることのない議会の話に真剣に聞き入っていました。

生徒の皆さんから議員に対する質問では、

- ・議員の給料(報酬)
- ・選挙にかかる費用
- ・議員になろうとした動機



たくさんの意見を交換しました

・議員の普段の生活、一日の流れ

など、率直な質問が飛び交い、議員も生徒の皆さんに伝わるように、分かりやすく答えていました。

また、生徒の皆さんからの要望では、『コンビニなど、若者が集まる店や商業施設を増やしてほしい』『通学路に歩道や自転車専用通路などを設置してほしい』

『コミュニティバスの本数を増やしてほしい』『通学路の危険な場所にカーブミラーを設置してほしい』『遠賀町の指定文化財を



閉会後に議場で記念撮影

もつとアピールして町外の人を集めてほしい』など、若者の貴重な意見を聞くことができました。初めは、緊張していた生徒の皆さんも、時間とともに打ち解け、休憩中は議員と談笑したり、発言中にも笑顔が出たりと、和気あいあいの意見交換会となりました。

意見交換会の後は議長席を中心に生徒全員で記念撮影をしていましたが、議会に接することが少ない生徒の皆さんには、今回の意見交換会を機に、さらに政治に興味を持つてもらえたのではないかと感じました。



審議会の女性の登用率を30%にする見通しは



(注) 充て職委員の要件見直しが目標達成のカギだ



はぎもと えつこ
萩本 悦子

一般質問とは…
年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

市町村の審議会等における女性委員の登用状況 (平成27年4月1日現在)

市町村名	審議会等数	うち女性委員を含む数	総委員数	うち女性委員を含む数	女性比率(%)	県内順位
久留米市	79	79	1,104	485	43.9	1
中間市	29	26	411	149	36.3	10
岡垣町	23	22	221	76	34.4	12
遠賀町	22	21	187	48	25.7	34
芦屋町	29	24	284	72	25.4	35
水巻町	36	31	437	107	24.5	39

審議会の女性の登用率

議員 本町の審議会の女性の登用率は、平成27年4月1日現在、25・7%だ。町の目標は、平成31年度までに30%に引き上げるということだが、見通しを尋ねる。

町長 各担当課では、女性の登用促進に努めているが、審議会委員の構成が充て職となつていてという事情もあり、女性委員のいない審議会もある。

充て職委員の要件の見直しが必要で、これが目標達成のカギと考えている。

審議会の女性登用については、今まで以上に意識しながら行っている。

防災分野にも女性の参画を

議員 現在、防災分野にも男女共同参画の視点が必要と指摘されている。

本町には、23の自主防

災組織があるが、女性の参画は、まだまだ少ない。自主防災組織にもっと女性が参画できる仕組みづくりが必要だ。

このことは、本町の男女共同参画推進計画の中でも明記されている。町の具体的な取り組みを尋ねる。

町長 女性参画の重要性は、各地区でも認識されていると思うが、理由はさまざまで、なかなか進まないという悩みもあるようだ。

あくまでも自主防災組織は、それぞれが意思決定権を持った団体であり、その運営のあり方については、各組織が決めることで、行政がこうあるべきだと押し付けることはいかなものかと考える。ただ、各地区の自主防災組織と女性防火・防災クラブの連携なども自主防災組織への女性参画に繋がっていくのではないかと考えている。

まずは、自主防災組織が抱える課題等の把握に努めるとともに、引き続き男女共同参画の視点からの防災分野の重要性への理解を求めている。

議員 過去に起こった大きな災害では、避難所で女性が直面する問題として、1番目にプライバシーや衛生面など生活に関わること、2番目に避難所の運営に女性が十分に参画できなかったために物資や環境の改善がなかなか進まなかったことが指摘されている。

本町の防災計画見直しの際には、女性が避難所の運営に参画できるように取り組みを考えていただきたい。

町長 国の指針の中にも避難所を運営する組織の中に女性参画の必要性が謳われていたので、しっかりと明記していきたい。

(注) 充て職
ある職に就いている人に、他の職を兼任させること。



おだ たか のり
織田 隆徳



国交省は遠賀川堤防の嵩上げをする考えはあるのか



現状で堤防は耐えうるとの考えで、補強の考えはない



最大降雨量に遠賀川の堤防は耐えられるのか

堤防の嵩上げをする考えがあるのか

議員 国土交通省遠賀川河川工事事務所が新たに作成した洪水浸水想定区域の概要を尋ねる。

町長 直方市の「日の出橋」上流域で12時間雨量59.2mmの降雨を想定し、作成されている。

想定降雨量は、前回の24時間40.5mmと比べ大きく増えた。

議員 遠賀川の氾濫の危険度が増加すると考えられるが、堤防の嵩上げなど新たな対策を講ずる考えがあるのか。

町長 遠賀川河川工事事務所では現状で堤防は耐えうるとの考えで、補強の考えはない。

議員 公表された新たな洪水浸水想定区域では、本町面積の56%が浸水する状況で、住民が不安になる。遠賀川堤防の補強を要請すべきだ。

町長 補強をしるという

たい。

しかし、国交省では避難勧告を出す意味での最大限の降雨量の想定をしたと言っている。

遠賀川駅南開発の進捗状況は

議員 遠賀川駅南開発は、計画どおり進んでいるか。

町長 本年4月の土地区画整理準備組合総会で、施工区域が約66haから46haに縮小した。平成30年度に組合設立を目指している。

議員 施工区域の縮小で計画どおり開発ができるのか。また、開発完了は何年を目指しているのか。

町長 準備組合では、縮小した面積で計画どおり開発する方向である。また、完了は組合設立から5年ほどかかると思う。

遠賀川駅に快速電車の停車を

議員 駅南の開発に合わせ、遠賀川駅に快速電

車の停車を実現すべきだ。

町長 JRは快速電車の停車要件として、乗降客数、駅の利便性、列車の停車本数、駅間の距離など総合的に判断して決定している。一つでも多く要件を満たすように努力し、JRと協議を行いたい。

小学校の英語教科化への対応は

議員 小学5・6年生の英語が4年後の平成32年度に正式な教科になる。授業時間の確保や教師の対応ができるのか。

教育長 時間割編成は非常に厳しい。今考えているのは、15分の短時間学習や土曜日や夏休みの活用などである。教員の研修を積み上げの他、ALT（外国語指導助手）を含め外部人材の確保も必要だと考えている。

※この他にも

「駅南地域の無電柱化」について質問しました。

Q

本町卓球クラブの活動について実態を把握しているか

A

体育協会に加盟している6団体については把握している



はま おか 坂 達
濱岡 峰達



元気で卓球に汗する中高年男女

公民館で卓球クラブの活動状況は

議員 各自自治区で体育センターや公民館を利用して卓球の練習をしている6団体があるが、その実態をどのように把握しているか。

教育長 体育協会に加盟している6団体は把握しているが、地区公民館等で自主的に活動している自治区の卓球クラブの詳細までは把握していない。

議員 教育委員会は状況がどうなのか、無関心ではいけないのではないのか。クラブ数でなく中身はどうなっているのか。

教育長 全てのことなのか、それとも方針、目標、会費といったことまでも指しているのか。中身は把握できていない。

議員 クラブ数は把握しているが、中身は把握していないとの答弁だがそのように理解して良いか。

教育長 全てのことを把握することは困難で、全ては把握していない。

コミュニティセンターでの開催は

議員 郡内の卓球大会を小学校で開催しているのは本町だけで、コミュニティセンターで大会を開催したいとの要望が来ているがどのように考えているか。

教育長 今、質問があったように郡大会は小学校で行っているが、どの会場で開催するかは、卓球協会が判断するものと思っている。

議員 郡大会をコミュニティセンターで開催することには、特段、規制はないということが良いのか。

教育長 会場については、卓球協会が判断すべきで、今までの経緯から教育委員会から指定することはない。

体育館内を計画的に整備する考えは

議員 体育館内に卓球台が7台、照明は電球色で、球が反射してやりづらいつきの整備をすれば多額の予算が伴うので計画的に整備をして行く考えはないか。

教育長 指摘のとおり他町では充実していると聞くが基本的には日常の利用者数や卓球人口に応じて整備されるものと認識している。照明は球切れの際に取り替えている。

議員 町長部局と予算の折衝があるので計画を立ててやった方が良いのではないか。

教育長 町長部局と話し合いながら進めていきたい。※この他にも

「遠賀南中学校の卓球部活動」について質問しました。



たしろ じゅんじ
田代 順二



子どもの貧困対策について 検討、また計画が必要では



国や県の計画を調査研究し実現可能な対策等を検証していきたい

貧困率の年次推移

	平成 15 年	平成 18 年	平成 21 年	平成 24 年
子どもの貧困率	13.7%	14.2%	15.7%	16.3%

(平成 25 年国民生活基礎調査)

子どもの貧困は調査と対策が必要

部落差別解消推進法案への考えは

議員 国の「子どもの貧困対策大綱」では、地方公共団体において検討の場の設置、また計画の策定が謳ってあるが本町でも必要ではないか。

町長 国の大綱を勘案し、策定された「福岡県子どもの貧困対策推進計画」を調査研究し実現可能な対策等を検証していきたい。

議員 子どもの貧困対策を検討するためには、本町ではどれくらいの子どもが貧困なのか実態を調査し、どういう対策をとるのか目標を決めて取り組むことが必要ではないか。

町長 厚生労働省の調査で子どもの貧困率は16.3%だが、本町には調査データはない。実態把握は重要だと考える。把握に努めたい。

議員 国会で「部落差別の解消の推進に関する法律」案が審議されている。法律が成立すると本町の施策に影響すると思うがどう考えているか。

町長 現在、集会所事業等の一般対策事業は本町の実情にに応じて実施しており、相談体制も広域隣保活動事業生活相談員設置条例を制定し取り組んでいる。

教育および啓発についても、人権教育・啓発基本計画および実施計画を定め、施策を実情に応じて実施している。

影響は現時点では不透明だが、国および他の地方公共団体との連携を図りながら、適切な役割分担を踏まえて取り組むかという部分と考えている。

議員 法案は部落差別を解消するものではない。新たな差別を掘り起こし

て差別を固定化・永久化するものだ。

平成14年に国の同和対策事業は終結し、法務省人権擁護局の調査では平成27年同和問題は0.6%にすぎない。

これまで同和問題の解決に血のにじむ努力を続けてきた人々を裏切る法案だ。町は反対の声を国に突きつけるべきだと思うがどう考えているか。

町長 本町は昭和48年から同和対策事業を行っていている。長年、地域地区の皆さんと一緒にやってこまてたどり着いた。同和問題が解決されるまでは法案の成否にかかわらず、本町の実情に応じた必要最低限の取り組み、あらゆる差別をなくすんだという強い理念の下で同和対策事業を実施している。部落差別をなくすことを一番の課題にしている。

傍聴者から一言

9月6日・7日、遠賀南中学校の職場体験で3人の生徒が議会傍聴に来られました。

間の時は、話が白熱して、話がいまいち、と思いましたが、話が終わりました。

黒田 有希

6日には、議案質疑、7日には、一般質問が行われましたが、この日には、寿大学や政治学級の皆さんも議会傍聴に来られ、議員と町長のやり取りを、真剣なまなざしで見つめていました。

あまり、こういう体験ができない中で、話が聞けて、とても白熱した一般質問でした。

野田 颯太郎

遠賀南中学校の皆さんの感想としては、次のようなものがありました。初めの質疑の時は、予算の話だけしか、話してなかったけど、一般質

一般質問がとても詳しく説明したりしてあって、とても遠賀町について熱心に考えていて驚きました。

春野 光琳



真剣なまなざしの議会傍聴

また、寿大学、政治学級の皆さんからは、議会を身近に感じられ、遠賀町の動きがよく分かるので、すごくよかった、という意見の反面、抽象的な質問や答弁でよく分からなかった、という声もありました。

第25回

全国市町村交流レガッタ大会

9月17日・18日、戸田公園漕艇場（埼玉県）で

行われた第25回全国市町村交流レガッタ大会に、

おんがの赤しそ、ロック

ベアーズ、遠賀町議会の

3チームが出場しました。

戸田市は、今年、市制

50周年を迎え、会場とな

った戸田公園漕艇場も、

昭和39年の東京オリンピ

ックや埼玉国体の舞台と

なった所です。

地元の方からは「4年

後の東京オリンピックも、

わが市で迎えたい」との、

熱い思いが伝わってきました。

競技では、議会チーム

は僅差で準決勝進出とは

なりませんでした。が、ロ

ックベアーズが、2分19

秒04で見事優勝し、長年

の夢を果たしました。お

んがの赤しそも4位入賞

とすばらしい成績を残し

ました。

遠賀川を利用したおん

がレガッタも、今年で18

回目となり、参加チーム

も年々増加する中、本町

のレガッタ力が、確実に

上がってきたことを実感

した大会でした。

レセプションでの市町

村紹介では、特産品の赤

しそドリンクをアピール

し、その後、会場内の皆

さんに試飲していただき

ました。

赤しそドリンクを既に

知っている方も多く、今

までの取り組みの成果を



全力を出し切るぞ

12月です

次回の定例会は

詳しい日程は、11月下旬に遠賀町ホームページ
(<http://www.town.onaga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

あ
と
が
き

「想定外」…災害が起きる度に必ず耳にする言葉だ。

昨年9月、豪雨により鬼怒川が氾濫し、約3700戸が全半壊した。今年9月の台風10号は八丈島の東で発生、岩手県、北海道を襲い甚大な被害をもたらした。高齢者施設で9人が犠牲となり、河川の氾濫や土砂災害で被害が拡大した。太平洋側から上陸した初めての台風となった。

本町は、住民の生命、身体および財産を災害から保護し、被害の軽減を図ることを目的とする「遠賀町地域防災計画」を、平成29年度中に大幅に見直すこととした。水害や熊本地震を踏まえ、備蓄品の確保や防災対策を備えた食育交流・防災センターに「想定外」はないと期待したい。

尾下 康文

遠賀議会だより

発行責任者

議長

古野 修

議会広報

常任委員会

委員長

中野 嘉徳

副委員長

萩本 悦子

委員

浜岡 峯達

仲摩 靖浩

尾下 康文

濱田 竜一